

全国高校総体  
 北海道

第4日

光星 延長制す

バスケット女子は  
 柴田が惜敗

全国高校総合体育大会（インターハイ）第4日は25日、北海道で2競技を行った。県勢はバスケットボール男子の八学光星が延長の末、瓊浦（長崎）を93―88で破り初戦を突破。2年連続で8強入りしていた同女子の柴田学園は市前橋（群馬）に第4クォーターに逆転され80―81で惜敗した。ソフトテニス男子団体は八工大一が1回戦で東福岡に1―2で敗れた。

（吉田希望）

バスケットボール

（北ガスアリーナ札幌46ほか）  
 ▼男子1回戦

ガード陣  
 3人奮起

光 星

延長の末、追いつがる瓊浦（長崎）を退けた八学光星。第4クォーター

（Q）以降の全21得点をガードの雪田、上山、成田（いずれも3年）の3人が奪った。

序盤から瓊浦の身長195センチの留学生や3点シュートが得意な選手を封じて第3Qまでリード。

しかし第4Qに同点に追いつかれた。

「苦しい時こそガード3人で点を取ると決めていた」（雪田）とギアを上げたガード陣。相手の主力選手がファウルを重ねていたこともあり、思い切って中に切り込んで攻め、相手に傾いた流れを再び引き寄せた。

チームは昨年の全国高校選手権（ウィンターカップ）で第4Qに逆転される悔しい敗戦を経験。

上山は「取られたらやり返す気持ちで練習してきた。追いつかれても良い雰囲気のまま戦えた」と成長を口にした。

（吉田希望）



【バスケットボール男子1回戦・八学光星―瓊浦】延長、八学光星の雪田⑦のシュートで83―81とリードする―北ガスアリーナ札幌46